



礎 いしずえ

第50号
2025年(令和7年)
3月

発行／～地域力つなぐ～枚二校区コミュニティ協議会

編集／コミュニティ協議会広報部

ひろげよう！詐欺から守る地域の輪



昨年、ふくし寄席で輪をつくった左から「やかまし娘」「淀川左岸ショー」「渚家栄都」の皆さん

ATMでスマホはアカン！



府警・生活安全指導班は5名で構成。うち2名によるコント

生活安全指導班 による寸劇

振り込め詐欺などの特殊詐欺は、高齢者をターゲットに巧妙化しており、多大な被害が発生しています。大阪府内では令和5年末で2656件、金額は36億6000万円に上る過去最多に達し、そのうち、還付金詐欺が948件と全体の36%を占めています。

高齢者等が被害に遭わないためには、
▽日ごろの声掛け見守り
▽回覧などで情報共有
▽カフェなどの「居場所」に誘い出向き、「孤立化」を防ぐことなどが有効です。

固定電話での対策方法

- ①常に、留守番電話に設定する
- ②防犯機能の付いた電話機などを使う
(70歳以上の人に無料貸し出し)
- ③国際電話(+から始まる番号)は詐欺
- ④身に覚えのない番号には出ない



被害状況の説明と対策を呼び掛ける警察官

「認サポ」世代超え共生を



枚二小体育館で行われた「認知症サポーター養成講座」の授業と参観風景

認知症への正しい理解を広めようと枚二小では、子どもたちの未来に活かす授業として「認知症について学ぶ」講座を、3年生を対象に行っています。枚二まつりの開催当日、講師と補佐役など「オール枚二」です。

登下校時に子どもたちが、「認知症サポーター養成講座」受講済みの証とするオレンジリングをつけていれば、そのまちに認知症の人を理解している人が大勢いることを伝える効果があります。

未来に活かす授業

小学3年

子どもの反応はいかに

今回も、講師は栃川さん。栃川さんは「認知症は脳の病気で、覚えていることが難しくなってしまう」「そういつた時は声を荒げることなく、手伝う、助けるという気持ちを持って接してほしい」と講話。

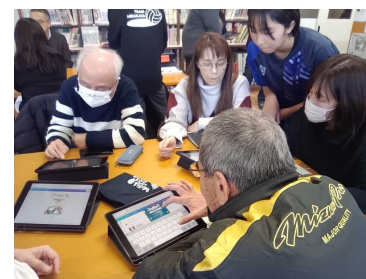
教材は「ばあばはいじょうぶ」という楠童子さんの絵本を使用。朗読は岡田さん。岡田さんが認知症の特徴について読み上げると、児童たちは「えー!!」「そんなことあるの」などの声が体育館に響き渡ります。

最後の質問コーナーでは、「認知症にならないためにはどうしたらいいのですか」「薬はないのですか」などと、みんな真剣になっていました。

スタート



ゴール



(右) マンツーマンによるiPad講座の様子
(左) ICT委員のメンバーらを撮影

会場の入り口横に枚二校区コミュニティ(協)から届いたメッセージポスターが掲げられ、多くの来賓が二十歳の門出を祝福しました。

▲メッセージポスターを挟んで、枚二校区の来賓たち

「祝二十歳 誠におめでとうございます」

第76回枚方市「はたちのつどい」が1月13日、枚方市立中学校19校の体育館と一部のイベントホールで開催されました。地域全体で新成人を祝福し、新成人が地域とのかかわりを深め合う集いです。

枚方中学校では、枚方中吹奏楽部による生演奏と枚方幼稚園の園児たちによる囀りの実演が場を和やかにし、時が流れるにつれ、温かい雰囲気広がっていました。

式典終了後に、枚二小学校の出身者が壇に上がり、集合写真に収まったり、思い出話に花を咲かせたりして再会を楽しんでいました。

取材と集い参加

今回新たに枚二コミュニティのインスタグラムを開設しました。随時、記事をアップしますの左端のコードからフォローしてください。

記事は1月18日(土)の評議員会・iPad講座で、枚方中学校ICT委員のメンバーが教えてくれた「画像デザイン編集アプリ・キャンバ」を早速使いました。

(平井)



「はたちのつどい」に参加して取材 平井直史(20)

枚二でつくった「はたちの輪」

式典終了後に集まった枚二小出身の仲間たち



児童集会で感謝

卒業式を間近に控えた2月25日、日頃の見守り活動に感謝の気持ちを伝える児童集会が、枚二小体育館で開かれました。

児童代表が感謝の意を発表したあと、全員で「ありがとうの花を咲かせよう」を合唱しました。終了後には教頭先生が、昨年、枚二のみんなでつくった「ほっとルーム」に案内してくれました。

見守り隊もホツと一息

ありがとうの花を咲かせよう♪

児童の代表が感謝の意を発表



▲ 地域の人も入れる子どもの居場所「ほっとルーム」で一息つく枚二見守り隊のメンバー（2月25日）



「グランプリ」盾の誇り



▲ 区民体育祭大成功の立役者
毎日新聞元論説委員の
審査員長・梶川伸さんと



令和6年度 市機関紙コンクールで2年連続受賞

編集後記

平成2年度からスタートした「枚方市機関紙コンクール」において『礎』が、2年連続のグランプリを受賞し、2月20日に表彰式と講評会がありました。

市の講評（全文）

前文の組み方、縦・横見出しの使い方や見開きの写真ページなど習熟していて、全体を通して地域活動の大切さを改めて感じることが出来る素晴らしい紙面です。

特に1面の「今日も行くところがある」は1人の高齢者を支える生産年齢人口といったデータを交えたり、参加者の言葉を入れたり工夫が見えます。主観的な文章で構成されていることもあり、署名を入れるとより親しみのある記事になります。「枚二みつば」が記事に出てくるので、見出しやリード文に入れるなどすると良いです。

区民体育祭は写真が多く見応えがあります。編集後記に「大学生が撮影した」とあるので、感想なども掲載するとより親しみが増すでしょう。